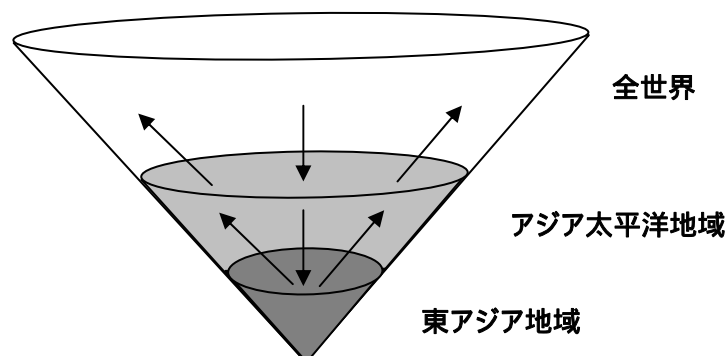


## 目標（案）に係る考え方（1）： アジア太平洋地域（特に東アジア地域）重点

「目標」とは、何に重点をおいて理念の実現を図っていくかを示すものである。戦略性を考えると、対象地域を重点化し、理念の実現を図っていくことが必要である。

- 「アジア太平洋地域」「東アジア地域」を選択する理由は以下の通り。  
 経済成長が著しく、環境悪化が激しいアジア太平洋地域の環境管理は、地球規模でも重大な課題である。  
 アジア太平洋地域は、我が国との経済的、文化的関係が密接である。特に、東アジアの国々は、我が国と経済社会面での相互依存関係が深く、貿易、投資、金融を通して、我が国が東アジアの国々の環境に影響を与えている。一方で、東アジアの環境悪化は、その地理的關係から、直接、我が国に影響を与えるものとなっている。
- 下図のように、「全世界」 - 「アジア太平洋地域」 - 「東アジア地域」は、継ぎ目のない構造になっており、相互に影響を及ぼす関係にある。
- 我が国のイニシアティブとして、「アジア太平洋地域」 - 「東アジア地域」での取り組みを進め、それを突破口に世界での取り組みを進めていく。したがって、「アジア太平洋地域」 - 「東アジア地域」以外は考慮しないということではなく、戦略性の高い地域・国についても適宜、積極的な協力を実施していく。

図 対象地域のイメージ



## アジア太平洋地域における環境問題

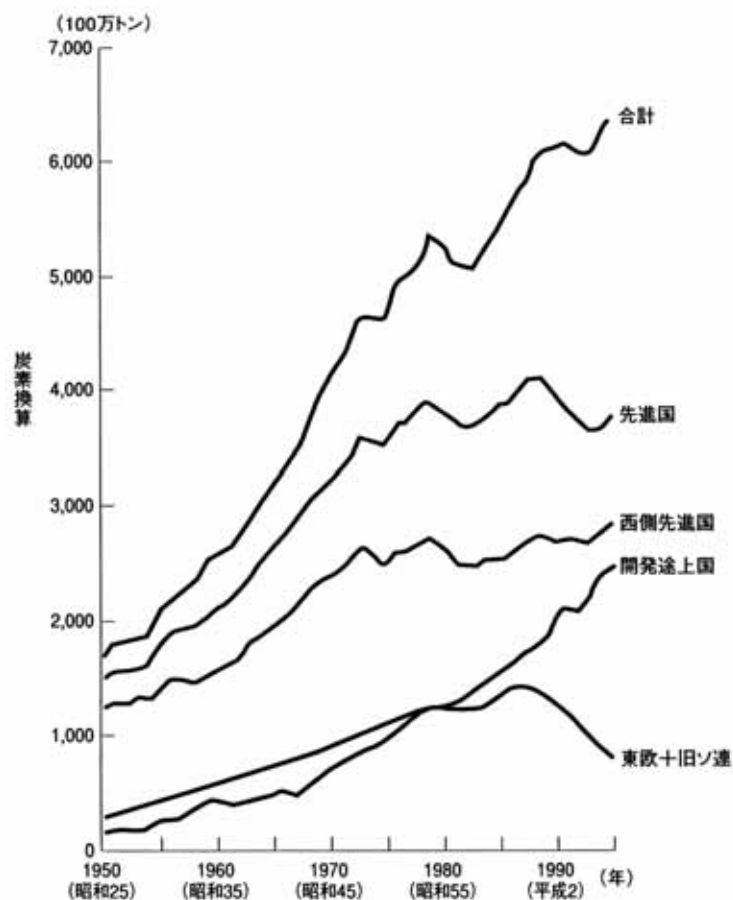
1. ESCAP によるとアジア太平洋地域では、環境負荷が増加している傾向にあることを示している。(図1)
2. 世界の CO2 の排出量で、途上国の伸びが特に著しくなっている(図2)。その中でもアジアの排出量が増大している。(表1)
3. 途上国の都市部の水質、大気環境悪化が著しく、特にアジアの主要な都市では、深刻な大気汚染問題を抱えている。(図3、表2、表3)
4. 世界の森林の途上国での減少が非常に大きい傾向にある。(表4)
5. アジア諸国の森林面積の減少が進んでいる。(図4)
6. またアジアでは土壌劣化も進んでいる。(図5)
7. 滅の恐れのある動物種数もアジア太平洋地域で多い。(図6)

図1 アジア太平洋地域の環境の変化

	南アジア		北東アジア		東南アジア		太平洋地域	
	1995   2000	2000   2005	1995   2000	2000   2005	1995   2000	2000   2005	1995   2000	2000   2005
	自然環境 陸上 砂漠化の進行 森林破壊 水 水質汚濁 水資源消費 大気 大気汚染 温室効果ガス排出 生物多様性 生態系と種の喪失 人間居住環境 人口増加率 スラム居住者数 平均寿命 自然災害被害 廃棄物 排出量 産業・交通 商業エネルギー使用量 農薬使用量 環境保全対策 公的機関による対策 民間企業の取組み 環境教育・啓発活動							
		増加 減少			少し増加 少し減少			

出典：ESCAP・Asia Development Bank, *State of the Environment in Asia and the Pacific 2000*

図2 世界のCO<sub>2</sub>の排出量の推移(1950 - 1995)



出典：オークリッジ国立研究所二酸化炭素分析情報センター(米国)推計値

表1 地域別CO<sub>2</sub>排出量

(単位:千トン)

地域	1990年	1999年	増減	増加率
アフリカ	650,046	795,616	145,570	22.39%
アジア太平洋	6,256,806	7,624,588	1,367,782	21.86%
ヨーロッパ	8,055,134	6,381,827	-1,673,307	-20.77%
ラテンアメリカ	1,012,660	1,287,583	274,923	27.15%
北アメリカ	5,470,079	6,215,545	745,466	13.63%
北極圏	554	539	-15	-2.65%
西アジア	370,071	639,693	269,622	72.86%
世界	21,815,348	22,945,390	1,130,041	5.18%

出典：UNEP, The GEO data portal, <http://geodata.grid.unep.ch/page.php>, (2004年7月14日)より作成

図3 アジアの11大都市の大気汚染状況

	バンコク	北京	カルカッタ	デリー	ジャカルタ	カラチ	マニラ	ムンバイ	ソウル	上海	東京
粒子状物質	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	・
二酸化硫黄	・	…	・	・	・	・	・	・	…	…	・
一酸化炭素	・	・	・	・	…	・	・	・	・	・	・
鉛	…	・	・	・	…	…	…	・	・	・	・

- …重要な汚染状況(WHO ガイドライン値を 100%以上上回る)
- … 多少の汚染～深刻な汚染状況(WHO ガイドライン値を 100%以下上回る)
- ・ 低汚染状況(WHO ガイドライン値はおおむね守られている、または場合により若干上回る)

出典: UNEP, *Global Environment Outlook*, 2000

表2 粒子状物質による汚染濃度の高い都市(1999年)

	国名	都市名	PM 濃度 (μg/m <sup>3</sup> )
1	インド	Delhi	187
2	エジプト	Cairo	178
3	インド	Calcutta	153
4	中国	Tianjin	149
5	中国	Chongqing	147
6	インド	Lucknow	136
7	インド	Kanpur	136
8	中国	Shenyang	120
9	中国	Zhengzhou	116
10	中国	Jinan	112
11	中国	Lanzhou	109
12	中国	Beijing	106
13	中国	Taiyuan	105
14	インド	Ahmedabad	104
15	中国	Chengdu	103

表3 硫黄酸化物による汚染濃度の高い都市(1998年)

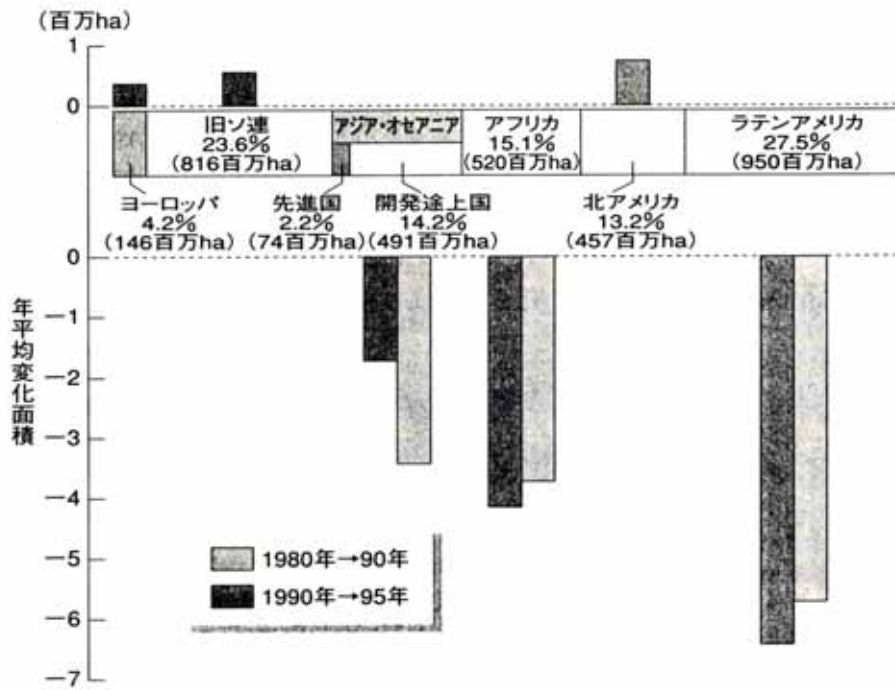
	国名	都市名	SOx 濃度 (μg/m <sup>3</sup> )
1	中国	Guiyang	424
2	中国	Chongqing	340
3	中国	Taiyuan	211
4	イラン	Tehran	209
5	中国	Zibo	198
6	中国	Quingdao	190
7	中国	Jinan	132
8	ブラジル	Rio de Janeiro	129
9	トルコ	Istanbul	120
10	中国	Anshan	115
11	ロシア	Moscow	109
12	中国	Lanzhou	102
13	中国	Liupanshui	102
14	日本	Yokohama	100
15	中国	Shenyang	99

データは入手可能な最新のもの

網掛けはアジア地域

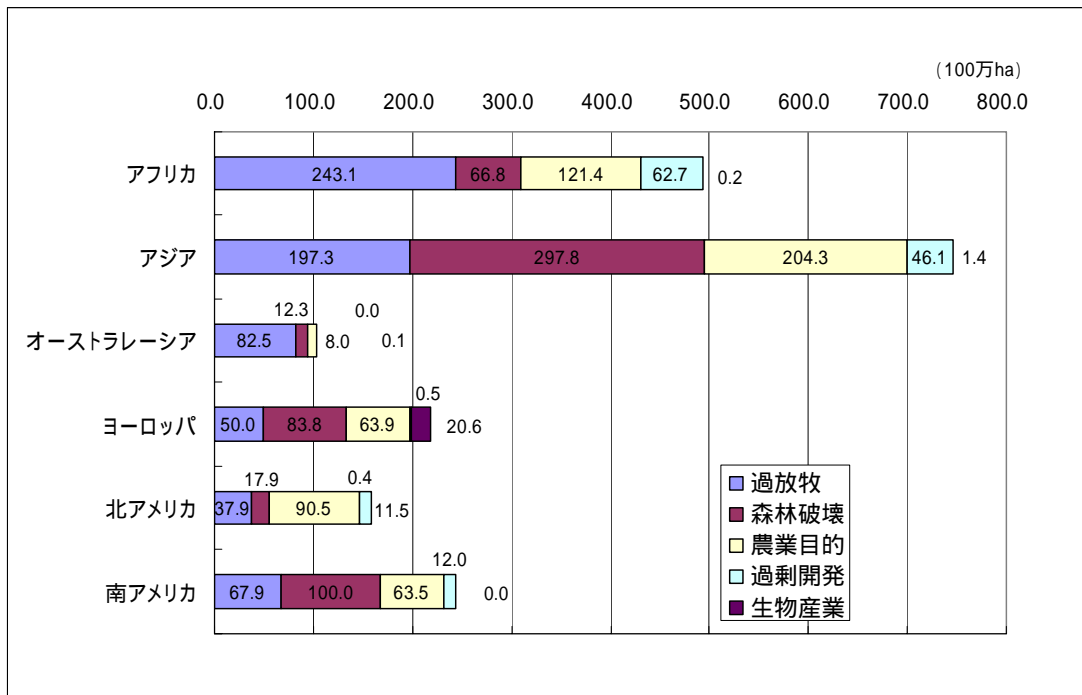
出典: World Bank, *WORLD DEVELOPMENT INDICATORS*, 2003

図4 世界の森林面積の動向



出典：FAO, *State of the World's Forest 1999* により環境省作成

図5 地域別の土壌劣化の要因



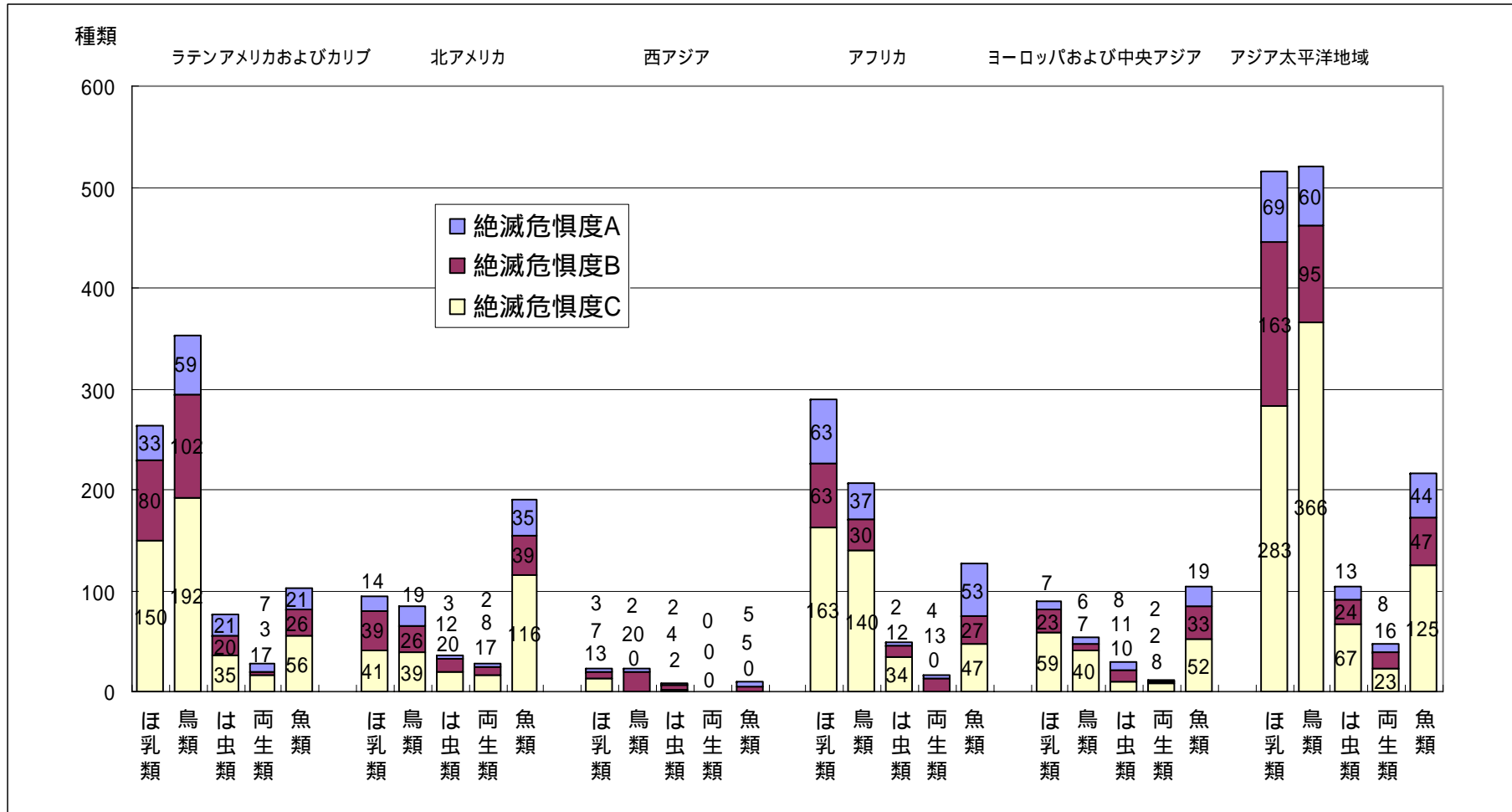
注：「オーストラレーシア」とは、オーストラリア、ニュージーランド、近海諸島のこと  
 出典：UNEP, *World Atlas of Desertification 2<sup>nd</sup> Edition*, 1997

表4 アジア諸国の森林面積

国（地域）	森 林				
	総面積 (1,000ha)		国土に占める割合 (%)		1990～95年 間の変化 (1,000ha)
	1990	1995	1990	1995	
<b>アジア</b>					
日本	25,212	25,146	67.0	66.8	-66
インド	64,969	65,005	21.9	21.9	36
インドネシア	115,213	109,791	63.6	60.6	-5,422
カザフスタン	9,540	10,504	3.6	3.9	964
カンボジア	10,649	9,830	60.3	55.7	-819
タイ	13,277	11,630	26.0	22.8	-1,647
中国	133,756	133,323	14.3	14.3	-433
トルコ	8,856	8,856	11.5	11.5	0
ネパ-ル	5,096	4,822	37.3	35.2	-274
バングラデシュ	1,054	1,010	8.1	7.8	-44
フィリピン	8,078	6,766	27.1	22.7	-1,312
ベトナム	9,793	9,117	30.1	28.0	-676
マレーシア	17,472	15,471	53.2	47.1	-2,001
ミャンマー	29,088	27,151	44.2	41.3	-1,937
ラオス	13,177	12,435	57.1	53.9	-742
<b>北アメリカ</b>					
アメリカ合衆国	209,572	212,515	22.9	23.2	2,943
カナダ	243,698	244,571	26.4	26.5	873
コスタリカ	1,455	1,248	28.5	24.4	-207
ニカラグア	6,314	5,560	52.0	45.8	-754
メキシコ	57,927	55,387	30.3	29.0	-2,540
<b>南アメリカ</b>					
アルゼンチン	34,389	33,942	12.6	12.4	-447
エクアドル	12,082	11,137	43.6	40.2	-945
コロンビア	54,299	52,988	52.3	51.0	-1,311
パラグアイ	13,160	11,527	33.1	29.0	-1,633
ブラジル	563,911	551,139	66.7	65.2	-12,772
ベネズエラ	46,512	43,995	52.7	49.9	-2,517
ペルー	68,646	67,562	53.6	52.8	-1,084
ボリビア	51,217	48,310	47.2	44.6	-2,907
<b>オセアニア</b>					
オーストラリア	40,823	40,908	5.3	5.4	85
ソロモン諸島	2,412	2,389	86.2	85.4	-23
ニュージーランド	7,667	7,884	28.6	29.4	217
パプアニューギニア	37,605	36,939	83.0	81.6	-666

出典：United Nations, *Statistical Yearbook, Forty-second issue*, 1997

図6 世界の絶滅の恐れのある動物の種類



出典: UNEP, *Global Environment Outlook*, 2000 に基づき作成